



# 山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 県内商店に

### 後継者難の悩み支援

だれもが幸せに暮らせるふるさとづくりに力を注いでいる山本義一県議(八街市選出、3期)は、2月定例県議会の予算委員会で質問に立ち、商店主や中小企業経営者の後継者難を取り上げ、県に対策を聞くとともに、速やかな事業承継への支援を要望しました。このほか、多くの農業リーダーを輩出してきた県立農業大学校の大規模改修、県立高校のトイレ洋式化などについて県の担当者にも質問しました。山本県議の質疑と県担当者の答弁を紹介いたします。



2月定例県議会予算委員会で県担当者の答弁を聞く山本義一委員

### 2月定例県議会予算委員会

山本委員 商店街は、身近な買い物場として、また、地域コミュニティの形成の場として大切な役割を担っている。  
県では、お客様が夜でも明るく安心できるよう街路灯のLED化などの施設や、  
地域の人の足を運んでもらうためのイベントの開催などへの助成を行っているところがある。  
私共の地元、八街の商店街でも、空き店舗を活用した高齢者サロンの設置、買い物弱者への支援など、県の

ど、商店街は厳しい状況にある中、県では、31年度も引き続き、商店街の様々な取り組みを支援すると聞いている。

経営支援課長 県では、平成29年度に「千葉県商店街実態調査」を実施しました。同調査では、「後継者難」、「商圏人口の減少」、

「商店街の中に空き店舗がなくなっている」などが、策の検討に当たり、商店街の課題を県はどのように認識しているのか。

「商店街の中に空き店舗が多くなっている」などが、上位の課題として挙げられています。  
特に、平成20年度の前回調査でも第1位に挙げられた「後継者難」については、回答割合が17.6ポイント上昇し、深刻化しており、これらを意識した施策の検討が重要であると認識しています。

「商店街の中に空き店舗が多くなっている」などが、上位の課題として挙げられています。  
特に、平成20年度の前回調査でも第1位に挙げられた「後継者難」については、回答割合が17.6ポイント上昇し、深刻化しており、これらを意識した施策の検討が重要であると認識しています。

### 円滑な事業承継重要 県支援ネットワーク充実

山本委員 最近よく、商店街に限らず、多くの中小企業の方々から「後継者がいない」との声を耳にする。長年、会社や地域の発展のため、会社を経営している社長の皆さん方も、高齢化が深刻になっており、国でも、このままでは2025年頃まで、累計で650万人の雇用が失われる可能性があるとの試算をしている。

経営支援課長 「事業承継支援ネットワークちば」には、今年度新たに、県内全市町村や県社会保険労務士会が加入し、体制の充実を図ったところです。

また、中小企業が事業承継を進めるためには、後継者や事業承継の時期、方法等を盛り込んだ計画を作成することが重要です。その際には、専門家のアドバイスが必要となるため、31年度から、その費用の一部を助成し、更なる事業承継の推進を図ります。

高齢化に伴い、廃業等が増加すると、中小企業が持つ技術やノウハウなどが失われ、働く場所もなくなり、その結果、地域経済が元気を無くしてしまうと懸念され、この対策として、事業承継の支援体制である「事業承継支援ネットワークちば」を活用するなど、円滑な事業承継を進めていくことが重要である。

山本委員 総武本線は、佐倉駅より先の区間では列車の運行本数が少なく、今後、利便性の向上を図っていくことが必要と考え

山本委員 さまざまな角度から、事業承継に新たに取り組む事業者に対し、ご支援をいただきたい。

### 成東駅発着快速列車 増発3市町で要望

山本委員 総武本線は、佐倉駅より先の区間では列車の運行本数が少なく、今後、利便性の向上を図っていくことが必要と考え

山本委員 総武本線は、佐倉駅より先の区間では列車の運行本数が少なく、今後、利便性の向上を図っていくことが必要と考え

千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください  
〒289-1116 八街市中央20-11  
TEL.043(440)7070  
山本よしかず 県議事務所 FAX.043(440)7030

# 県立農業大学校改修 照明など大掛かりに 平成34年度に供用開始

**山本委員** 本県農業を維持・発展させるためには、担い手の育成は欠かせない。今回、大規模改修の予算が計上されている千葉県立農業大学校は、本県で唯一の農業研修教育施設として、昭和54年の開校以来、これまで2800人以上の卒業生を輩出している。

地域農業のリーダーや指導者として活躍し、本県農業の発展に寄与してきたものと考えている。農業大学校が今後も引き続き、農業研修教育施設としての役割を果たすため、教育環境の充実が必要と考

える。そこでかがうが、農業大学校の大規模改修はどのようなものか。農林水産部長 農業大学校の大規模改修については、平成31年度には、県有建物長寿命化計画に基づき、平成34年度の供用開始を目

的に行うことを考えています。具体的には、老朽化の著しい給排水管や床、天井の更新や照明のLED化などを行うほか、講義室や専攻教室等の学習環境を充実させ

指して、本館の改修工事の実施設計を行います。具体的には、老朽化の著しい給排水管や床、天井の更新や照明のLED化などを行うほか、講義室や専攻教室等の学習環境を充実させ

卒業生の就業状況はどうか。担い手支援課長 近年は、農業に関心をもった非農家出身の学生が増加する傾向にあり、農業法人等への就職者が増えております。平成29年度の卒業生は、雇用就農も含め3分の1程度が就農しています。

**要望** 山本委員 県内では毎年400名前後の新規就農者がいるとのことだが、まだまだ新規就農者を増やしてもらいたい。森林に関わる人の裾野を広げるためにも、農業大学校において、森林や林業の基礎的な知識を学べる授業を取り入れることを検討してもらいたい。

## スマート農業教育充実を

**山本委員** 農業大学校における担い手育成の取り組み状況はどうか。担い手支援課長 農業大学校では、農業を取り巻く環境が変化している中においても、生産現場で即戦力として活躍できるよう、基本的な農業の知識・技術に加え、模擬会社を通じた経営管理や、生産工程を適切に管理するGAP、ICT技術を活用したスマート農業などの教育を進めているところだ。

こうしたこともあって、全国の農業大学校が集い、卒業研究などを発表する大会において、本校の学生が平成28年度から3年連続で最優秀賞を受賞しております。

**要望** 山本委員 農業分野でも、AI(人工知能)などを活用して生産性を高めるスマート農業の導入が進んでいる。ぜひ、農業大学校の学生への教育を進めるとともに、県内農業者へもスマート農業を推進するようお願いする。

全国的な状況はどうか。教育施設課長 全国的な状況は、平成29年度等によりまず、平成29

全国的な状況はどうか。教育施設課長 全国的な状況は、平成29年度等によりまず、平成29

全国的な状況はどうか。教育施設課長 全国的な状況は、平成29年度等によりまず、平成29

全国的な状況はどうか。教育施設課長 全国的な状況は、平成29年度等によりまず、平成29

## 県立高校トイレ 洋式は4分の1 全国平均大きく下回る

**山本委員** 県立高校の施設整備についてかがう。県立高校のトイレの洋式化率はどの程度か。教育施設課長 県立高校のトイレの洋式化率は平成30年7月現在で、総数1万570個のうち、洋式トイレは2811個であり、割合にして26.6%になっています。

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

全国的な状況はどうか。教育施設課長 全国的な状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

**山本委員** 全国的状況はどうか。教育施設課長 全国的状況は、平成29年度等によりまず、平成29

## 2万1940か所一斉点検



県担当者の答弁を聞く山本委員

## 県内の横断歩道

であり、洋式一辺倒というわけにはいかないが、県立学校においては、当面、2

分の1、50%くらいを目標に洋式化を進めることが望ましいと思う。

**山本委員** 交通安全対策についてかがう。県内約2万1000か所の横断歩道点検の推進状況はどうか。交通規制課長 平成30年12月末で、県下2万1940か所全ての横断歩道の点検が終了し、「著しく摩耗している箇所」と「一部が摩耗している箇所」との2部が摩耗している箇所と、通学路や繁華街などで横断歩道が早期に補修が必要と認められる箇所として合計約3500か所を把握したところ

**山本委員** 現時点での補修状況と今年度内の補修見込みはどうか。交通規制課長 本年1月末で、約2100か所の補修が終了し、年度内に約2300か所の補修が完了する見込みであります。

**山本委員** 「ゼブラ・ストップ作戦」を踏まえた補修状況はどうか。交通規制課長 平成29年度の実績をもとに、平成30年度の予算額から算出して、約2850か所の補修を見込んでいたところですが、今年度は、県警として「ゼブラ・ストップ作戦」を推進し、歩行者が安全に横断歩道を渡れるよう、ドライバー側に横断歩道があることを知らせるため、横断歩道と併せて、横断歩道の手前に標示する予告標示であるダイヤマークの補修を多く行ったことから、横断歩道自体の補修は約2300か所になると見込んでいます。

**要望** 山本委員 引き続き、補修を必要とする箇所については早い段階で補修を行うなど、横断歩道を横断する歩行者の安全確保に万全を期していただくとともに、横断歩道を含めた交通安全施設の適切な維持管理に努めていただきたい。特に横断中の歩行者の死亡事故等が多いように聞いており、運転者のモラルも悪いのも確かにある。一時停止があっても一時停止もしなかったり、渡ろうとしているのに止まらなかつたりというのがよく見受けられる。警察官も忙しいが、ぜひ、街頭監視等の面にも今後とも力を入れていただき、運転者のモラルがしっかり守られるような、体制等を取っていただくよう要望する。